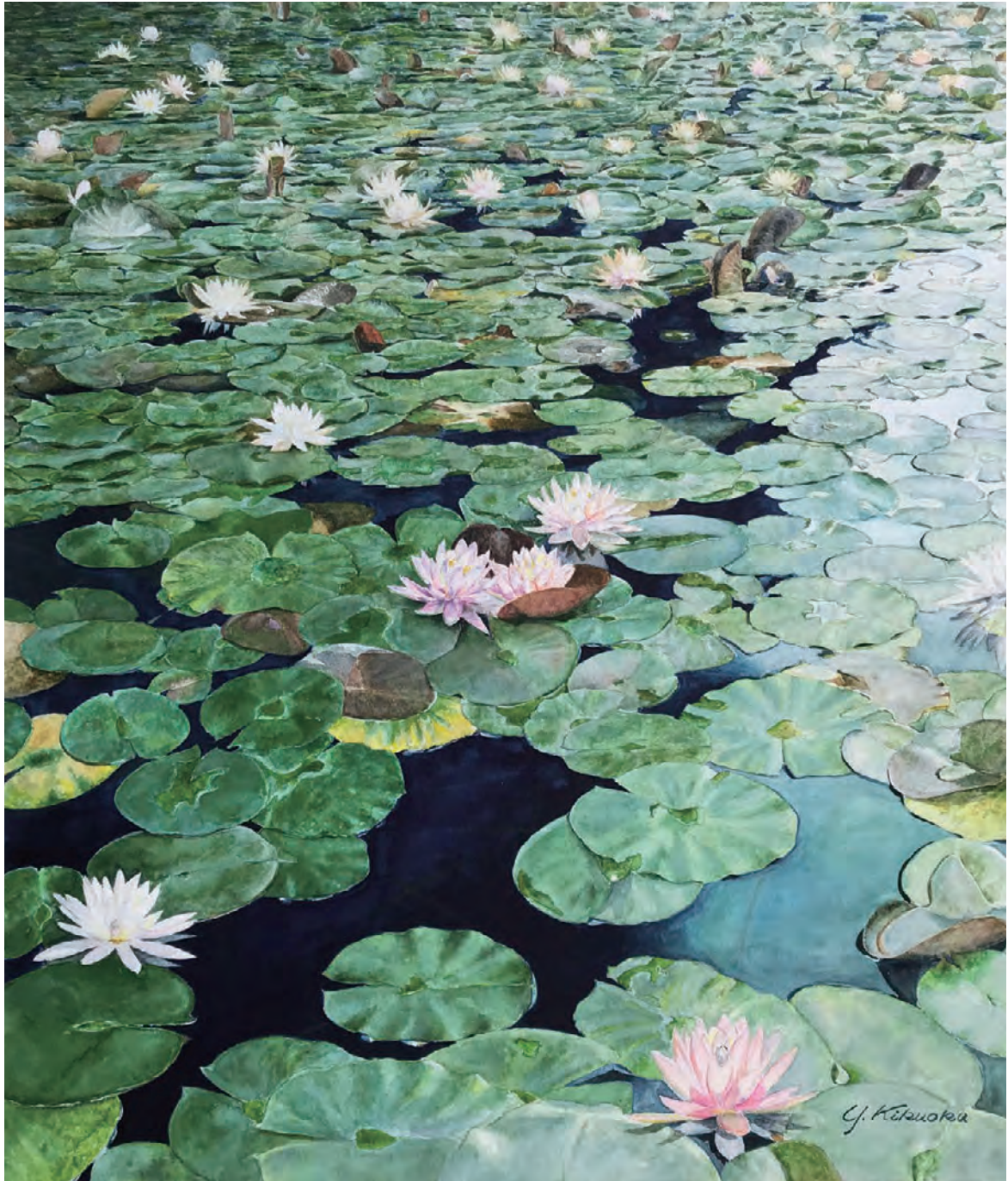


菊岡保人の水彩画

～細部に思いをこめて～

「睡蓮」



size: 455×530mm

場所は東京都立川市の国営昭和記念公園、時期は7月中旬です。

この絵を描いていた頃は今年のようなコロナ騒動もなく、公園には沢山の人出がありました。絵のモチーフを求めて1時間ほど園内を散策し、睡蓮の池にたどり着きました。水に浮かぶ一面の葉は強い日差しの中、白く光るゾーンと大きな樹木の影に入るゾーンに分かれ、その葉も仲間入りする新葉や今が盛りのもなど変化に富み、素晴らしい景色を作り出していました。花も見事に開いて緑の中に映え、葉の間の水は深みを湛えた琉璃紺色で葉や花のバックとして景色を支えています。

この絵の製作で一番の思い出は、奥に行くほど小さくなってゆく葉っぱをどのように表現するかでした。大胆に描いて遠くにある葉っぱをそれらしく表現する術を知らない者としては、コツコツと描いてゆく外ありませんでした。

今年もきっと素晴らしい景色を見せてくれることでしょう（なお、花が開いているのは午前中ようです）。